

採用のご案内
社会福祉法人 南山城学園

こどもが、まんなか





Contents

- | | | | |
|----|----------------|----|--------------------------|
| 10 | 保育理念 | 72 | 保護者インタビュー |
| 16 | 1日の流れ | 74 | 園児インタビュー |
| 40 | 保育者インタビュー | 78 | 私たちが大切にしている
教育・保育のすがた |
| 50 | 保育の特長 | 80 | 理念 |
| 52 | 異年齢保育 | 82 | 働き方 |
| 54 | プロジェクト保育 | 83 | よくあるご質問 |
| 56 | 地域とつながる保育 | 84 | 所在 |
| 58 | 環境 | 86 | 法人概要 |
| 62 | ツールズ | | |
| 64 | Q&A こんなときどうする？ | | |
| 68 | 保育者の声 | | |



子どもたちと

はっけん! と できた!

をたくさん学びあう。

そんな保育をめざしています。







＼ だいしょ
だいしょ ！



philosophy

私たちが 大切にしていること

- 保育理念



南山城学園の保育は、「こどもが、まんなか」。
でも、それは“やさしさだけ”の保育ではありません。

子どもが見つけた小さな発見、ひらめき、気づき——
その瞬間を逃さずキャッチし、全力で支える。
それが、私たちの保育です。

できることも、できないことも。
やりたい気持ちも、やりたくない気持ちも。
大人の都合でまとめず、子どもの心に正面から向きあう。

そのなかで、子どもが「自分の言葉」を見つけ、
「自分の力」を信じられるようになる。
それが“こどもが、まんなか”の意味です。



だから南山城学園では、
他園にはない仕組みやルールを自分たちで作り、
子どもたちの毎日を、より自由でのびやかにしています。

子どもが変わる。
私たちも変わる。
そのまんなかで、保育者自身も、
毎日にワクワクしながら、子どもたちといっしょに、
いろんなことにチャレンジしています。

ぜひ一度、
南山城学園の保育を体感してください。

レッツゴー!
↓

子どもたちの日常を
ちょっとのぞいてみましょう。



flow of the day

ある日のゆいの詩

● 1日の流れ

／
おはよう！
／

🕒 7:00



朝、登園がはじまります。きのうは「お父さんと離れたくない!」と泣いてしまった子も、
きょうは笑顔でお父さんとみた電車の話をしてくれました。

🕒 8:30



大きなガラスの玄関が私のお気に入り。
お父さんやお母さんへ元気に「いってらっしゃい」が言えたね。

どきどきわくわく





出欠確認も便利なタブレットで。
先生といっしょにお名前呼びしてくれる？

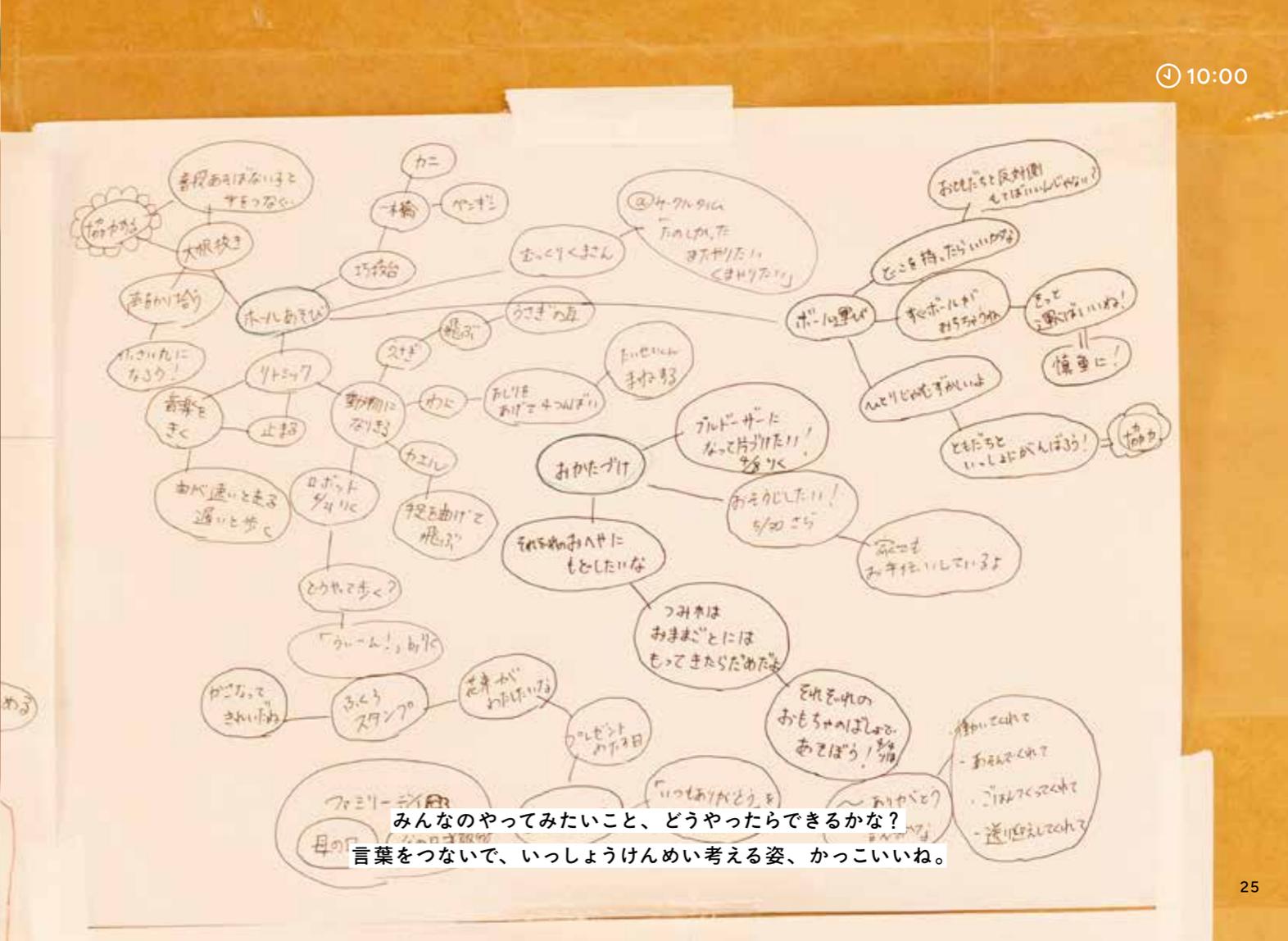


子どもたちと、何がしたいかいっしょに考える。
一人ひとりに寄り添うためには、チームで協力することが大切。



朝のサークルタイムがスタート。

きのうを振り返りながら、きょうは何する？を子どもたちと一緒に考えます。



みんなのやってみたいこと、どうやったらできるかな？

言葉をつないで、いっしょけんめい考える姿、かっこいいね。



あつ



子ども同士でコミュニケーションしているとき、
ふと成長を感じて、うれしくなる。



元気に遊ぶ子どもたちに負けないくらい、
わたしたちも全力でいっしょに学んで、遊びます。

🕒 12:30



「食」も保育にとって大切な時間。

2歳さんも、上手にスプーンが使えるように練習しました。

🕒 13:00



チームでの保育は、役割分担。

日々いろんな場面で子どもの成長に関わっていることを実感。



今日の子どもたちのようすや注意することを、職員同士で共有します。
チームでの保育は、コミュニケーションが大切。



今つまづきそうなことを、先輩に相談。
先輩に話すと、なんだか心が軽くなった。

だんだんねむたくなってきた



子どもたちがお昼寝しているあいだに、きょうあったことを振り返り。
言葉にすると自分自身の成長を感じます。



お昼寝のあとは、きょうのなかで困ったことやうれしかったことを
みんなで話しあい、あしたの保育に活かします。



1日のなかで、職員同士で話すことがたくさん。
情報共有だけでなく、子どものいい姿を共有したりも。



ねえねえ、
あのね、

きょうのワクワクを、あしたにつなげます。

今日はなにをする？



interview

園で はたらく人たち

- 保育者インタビュー

どんどん話して、
 どんどんチャレンジ。
 保育者みんなで、
 一人ひとりの成長に
 寄り添います。

和田 優花 Wada Yuka

ゆいの詩/0歳児担当/1年目

乳児の発達にあわせた動きができるよう日々保育を勉強中。子どもたちとの丁寧な関わりを大切に、ゆったりと安心できる環境づくりを心がけている。



「できる」がふえて
 うれしい!



年齢、キャリア関係なく、
 みんなで子どもに寄り添うチーム。

1年目の保育者にも「こんな活動、どう思う?」と聞いてもらえることに、私もチームの一員なんだとやりがいを感じます。若手もベテランも、園長も副園長もパートの先生も、みんなで情報共有し、話しあいながら子どもの成長に寄り添うこと。そんな保育が、当園の大きな魅力です。悩んだり、つまづいたりしたときも、背中を押してくれる先輩たちがいてくれるので、全力で子どもに向きあえます!

子どもの好きをひろげるために、
 できることは無限大。

入職して間もない頃は、週5日間の遊びや活動を計画することに頭を抱えました。経験が少な

いから、引き出しも少なく。どうすることもできず先輩に相談したところ、芝生の感触遊びや砂場の穴掘り遊びなど、いろいろな遊びが出てくる出てくる。園庭のなかだけでもこんなにたくさん遊びがあったんだ。もっと柔軟に考えていんだと視界が広がり、いろいろな発想ができるように。先輩はやっぱりすごい! 保育はやっぱり奥深い! そう痛感したできごとでした。

子どもの成長のよろこびを、
 わかちあえる保育者になりたい。

子どもたちが自ら動けるようになったときなど、成長を感じてほんとうに嬉しくなります。子どもの発達にあわせた援助をさらに学び、子どもの気持ちに寄り添いながら、興味や好きをひろげていける。そして、保護者の方と一しょに子育てを楽しめる。そんな保育士をめざしています。

考える力や学ぶ機会を大切にしていきたい。
そのために、子どもを待つ。
とても大切にしていることです。

小松 萌 Komatsu Moe

もりの詩／0歳児担当／4年目

乳幼児期の成長に興味をもち、保育士になることを志す。プライベートも全力に楽しんでおり、自身の劇団を旗揚げ。そのスキルを、職員同士の懇親会での司会や、就職フェアのナビゲーターとして活かしている。



毎日ひとつ、
子どもたちからもらっています。

トイレがおわって私のところに駆け寄ってきて、「できたぞ」という誇らしげな表情をしてくれた子。人見知りが強かったんですが、他の先生といっしょにトイレに行けた日のことでした。ほんとうは私とトイレに行きたかった気持ちと、それでもがんばってみようという成長の姿がとても愛おしくて。子どもたちは毎日のように、何かを与えてくれています。だから私も、意識的にそれを見つけるようにしています。

気づきの芽を伸ばそう。

子どもの発見や想いを整理する時間を大切にしたい。だから、待つこと。そして、聞いている姿勢をみせることを心がけています。子どもたちの

「見つけた!」や「伝えたい!」という意欲を、大人の都合で待たずに答えを出してしまうと、せっかく出てきた気づきの芽がもったいないことになってしまいます。子どもたちに体を向けて、視線をあわせて気持ちを受けとる。その積み重ねが、「こどもが、まんなか。」の保育につながっていくと考えています。

子どものいちばんの味方でありたい。

保育士として、子どものいちばんの味方でありたいと思っています。子どもにとって、よりよい保育とはなんだろう。子どもが大事にしているものはなんだろう。そこに向きあい、伸ばしていけたら。今後は、自分自身が保育を楽しむだけでなく、いっしょに働く職員の働きやすい環境づくりにも取り組みたいと考えています。

トイレに行けたね!
かっこいいよ!

出発地点は、
子どもたちの「やってみたい」。
どうすれば実現できるかを、
たくさん、たくさん話しあいます。

樋口 舞 Higuchi Mai

もりの詩／1歳児担当／4年目（キャリア採用）

大好きなピアノが弾ける仕事があった。その気持ちが、保育の道へのきっかけに。今でも卒園式やお楽しみ会では「弾きますよ」と積極的に手をあげ、ピアノを奏でつづけている。



どうする？
できる？
やってみよう！

「子どもと先生」ではなく、
ひとりの「人と人」として。

幼稚園教諭として6年間勤務したのち、「主体性を育む保育」に魅力を感じて当園へ。とはいうものの、“先生たるもの、ひとりでクラスをひっぱっていくべし！”という前職での一斉保育が染みついていて私にとって、当園の現場はこれまでとのギャップの連続でした。「子どもと先生」ではなく、「人と人」として向きあい、子どもたちの気持ちを出発点にすること。そのためにチームで協力しながら保育をすること。その大切さを日々実感しています。

コミュニケーションが、
いちばん大切。

朝、園に来たときに「せんせい、おはよう！」って、笑顔で私にぎゅっと抱きついてくれる。この

瞬間がなによりも嬉しいです。こうしたふれあいもそうだし、おしゃべりもそう。たくさんコミュニケーションをとって子どもたちのことを知りたいし、私のことも知ってほしい。もちろんそれは先生たちとも同じで、**仕事の話も、くだけた話もすべてが大切。**お互いを知り、思いやりをもつことで、よりよい保育にもつながっていくんです。

おもしろくなりそうを、
おもしろがってみる。

ある雨の日。みんなで話しあい「傘をさして遊ぼう！」ということになり園庭へ。雨音に耳をすまし、水たまりをちゃぶちゃぶ。傘がくるくるまわり、雨粒がきらきら輝いていました。「雨なのに」という**大人の感覚はいったん置いて「おもしろい場面になりそう」をたのしんでみる。**そこから自然と「こどもが、まんなか。」に。そんなことを実感できた一日でした。



保育者インタビュー

子どもたちの気持ち
が、気づけば自然と動いている。
そんなシーンを、ねらいをもって、さりげなく用意するんです。

宮城 優生 Miyagi Yuki

ゆいの詩 副主任 / 3~5歳児担当 / 6年目

きょうだいがいなくても、園ではお兄ちゃんやお姉ちゃんになれる。そんな異年齢保育の話にワクワクし南山城学園へ。心が動いた瞬間を、日々の保育に取り入れることを大切にしている。

みんなきょうは
何がしたいの？



言葉ひとつも、
子どもの大事な環境に。

毎年4月の晴れた日には、絵の具のぬりたくり遊びをします。日当たりのいいテラスで、真っ白な画用紙をパステルカラーで彩るうちに、子どもたちはお友達と笑いあい、にこにこきらきらしてきます。一日いちにちの、どの瞬間も、子どもたちの成長につながっています。お友達がころんだ瞬間に「大丈夫？」と先生が声をかけているうちに、子どもたちも自然とそれができるようになっていたり。**言葉かけひとつも、子どもたちの大事な環境**になる、とてもやりがいのある仕事です。

出発前に、ひともんちゃく。
5歳児さんが、問題解決。

先日、送迎バスに乗る前に、4歳児の男の子と女の子が靴を履く場所をめぐって揉めたことがあ

りました。バスの出発までもう時間がない。どうしたものかと思案していると、そこへ5歳児さんがやってきて、両者の間に入って「**どうしたの？**」「**じゃんけんしたら？**」と仲立ちしてくれたんです。なんて頼もしいんだろうと感動していると、4歳児さんも納得してくれて、バスに乗って定刻出発！（笑）私にとって、ものすごく「こどもが、まんなか。」なエピソードでした。

保護者さんの言葉が、
大きな励みになっています。

「先生がいてくれたから、安心して預けられました」「先生がいるから、園に行きたいっていうんです」。そんな保護者さんからの言葉は、ほんとうに嬉しくて、この仕事をしてよかったなあと思える瞬間です。幸せな仕事だなあ。そんなことを、ふと、しみじみと思います。



＼レッツゴー！／

characteristics

「こどもが、まんなか」 のために

- 保育の特長
- 環境
- ツールズ
- Q&A
- 保育者の声

いっしょだから、学びあい、助けあえる。

異年齢保育

いろいろな人と協力しながら生きていく力を育みたい。だからこそ、年齢の異なる子どもたちがいっしょに過ごす保育を実践。年上の子が年下の子のお世話をし、年下の子がお兄さんお姉さんの真似をする。そんな毎日を重ねるなかで、**互いに学びあい、助けあう大切さを自然に学びます。**また、「〇歳だから」と年齢をものさしにせず、異年齢がいっしょに過ごすからこそ、**一人ひとりの成長に寄り添えます。**



**大事にしたい
考えかた**

年齢を、成長のものさしにしない。

年齢を基準にするのではなく、一人ひとりの今の姿を大切に受けとめます。異年齢の関わりのなかで、子どもたちが抱いた**年上の子への憧れ**や、**年下の子への思いやり**の積み重ねが、たしかな成長につながります。

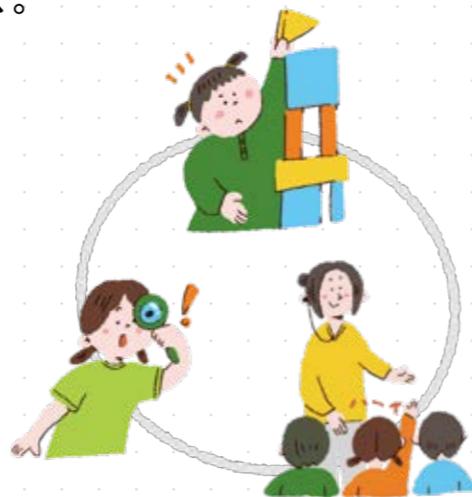
いっしょにやれば、
だいじょうぶ。



気づきや発見を、探究・発展させていく。

プロジェクト保育

「なぜ？」をかたちにしていくことで、生み出す力身につけてほしい。そのために、子どもたちの話しあいから生まれた「やってみたい」や、日々のちいさな疑問やつぶやきからテーマを拾いあげ、取り組んでいく**保育**を実践。たとえば、紐やのりなど「くっつくもの」を集めるうちに、ものづくりへと発展していく。そんなふうな、次の展開が生まれるつながりのある活動から、**感性や表現力**を引き出します。



現場で 心がけていること

成果よりも、プロセスを重視。

いざ実施してみると「結果を出さなくちゃ」と思ってしまいがち。でも、**成果よりもプロセスがなにより大切**。子どもたちと話しあいながら「まずはやってみよう!」の気持ちでチャレンジしてみましょう!



右ページの写真：プロジェクト保育のワンシーン。子どもたちの興味・関心をひもといて、地域のいろいろなお店やお仕事を子どもたちと取材。12月のお楽しみ会では、それぞれお仕事の服を工作しつつ、子どもたちと発表を考えていきました。



まち「の」居場所に。まち「を」居場所に。

地域とつながる保育

園とご家庭だけでなく、地域のみんなで子どもたちを育てたい。そして、**多様な世代との交流から、豊かな心をもってほしい。**地域の高齢者を招いての**モーニング**や、5歳児がまちへ繰り出して行く**地域清掃**。これらの活動は、地域とつながり、私たちの保育を知っていただくためのもの。他園や小学生を一時的にお預かりする病児保育も行うなど、**支えあい、気にかかけあう関係づくり**も大切にしています。



**地域全体で
子育てするために**

子どもたちの、仲間をふやす。

保育を園の中だけで完結させるのではなく、**地域とつながり仲間をふやす**ことで、子どもの可能性をひろげること。そのために、私たちから地域へ出向き、幅広い世代の人たちとの関係づくりを進めています。



environment

環境

木のぬくもりも。
さしこむ光も。
すべてを
成長の糧にします。

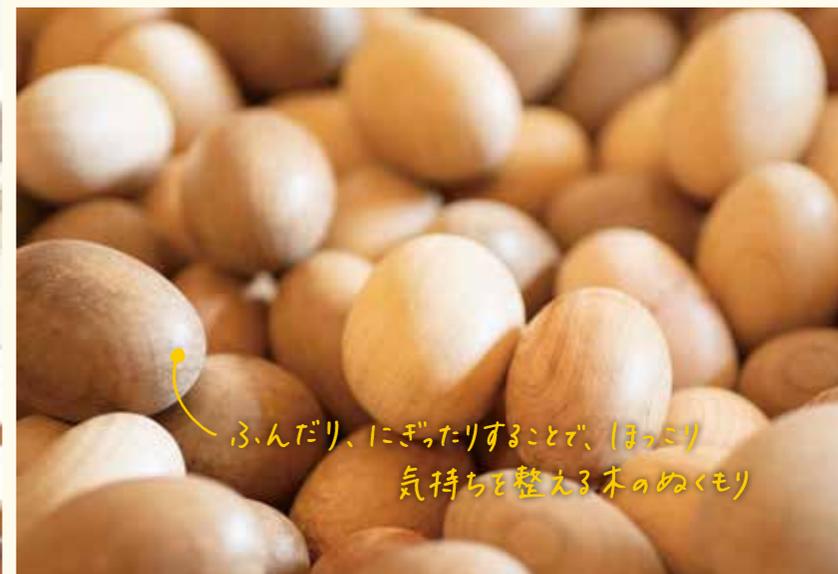
部屋の中から園庭まで。
みんなのしていることがみてとれる。
子どもたちの姿はもちろん、
先輩たちがどんな保育をしているのかも。
子どもたちも、先生も、
みんなで成長していける環境です。



ぬいだ上着はハンガーへ
生活の“あたりまえ”を大切に



おうちの布団じゃないからこそ
お昼寝もいい経験に



ふんだり、にぎらたりすることで、(おっこ)
気持ちを整える木のぬくもり



高いところから
園庭を眺めるのも大人気

子どもたちの
「やってみたい!」を引き出す
く"るりとみわたせる園庭ビュー

斜面をのぼりおろしたり、
芝生で寝転んだり

ダンゴムシを
見つけよう!

一本木橋、バランスよく
わたることができるかな?

両足で
ジャンプ!



重いことも割れることも
陶器だから学ぶこと



まぜるとどんな色になる?
発見してほしいくて
絵の具の色は最小限に

気持ちが動く瞬間を、 園舎と園庭のいたるところに。

毎日のさまざま経験から、自ら考え、いろんな気持ちと向きあってほしい。そのために、一人ひとりの好奇心や創造力が湧き立つような工夫を、園舎と園庭にちりばめています。木のぬくもりも、さしこむ光も。ここにあるすべてが子どもたちに寄り添い、チャレンジしていく主体性を育てます。

POINT

ほんものにふれながら、
心と体をつくっていく。

体の動かしかたを学ぶために、園庭の遊具は最小限に。ひとつの遊びを発展・展開できるよう、玩具の配置にもとことんこだわっています。ランチの食器は、0歳児から陶器を使い、2歳児からは配膳や片付けも。そんな一日いちにちの積み重ねから、豊かな心と丈夫な体をつくります。

ツールズ tools 南山城学園の保育をつくる7つ道具をご紹介します!



01

インカム

子どもの遊びを妨げず、職員間の連携をスムーズに。



02

タブレット&PC

手書きを減らせば子どもと向きあう時間が増える。ひとり1台支給です。



04

絵本

子どもの新たな世界をひらくトビラに。いつでも絵本をひらけるよう園の入口に絵本棚をおいています。

03

連絡帳アプリ

保護者さんとの日々のやりとりを、アプリを使ってきめこまかく。嬉しいコメントをいただくことも!



05

マインドマップ(保育ウェブ)

子どもたちと話しあい興味や思考を見えるようにし、保育をどんどん広げていきます。

07

先輩・同僚

いいこともよくないこともわかちあえる。職場の自分のいちばんの理解者です。



06

子どもや保護者さんからもらったお手紙

悩んだときも、立ちどまったときも、きっと心強いお守りに。



番外編

推し活!?

推し活、劇団、ライブ、旅行! 園には楽しみ上手な職員がたくさん。プライベートの充実も大切です! 推し活がプロジェクト保育のヒントにも?!



Q&A

こんなとき、どうする？

子どもとの関わり

「ダメ！」ではなく「どうしたの？」。
大きな声で、子どもを動かすことはしません。



見ていて危ない遊びをしている

“戦いごっこ”などをしていても、「危ないからやめなさい!」とは言いません。**子どもたちと一っしょにどこが危ないのかを話しあい**、みんなでルールをつくっていくことを大事にしています。

運動会の準備が間に合わない

間に合わなくてもいいんです。**大事なのは結果よりプロセス**。プログラムだって子どもたちと園のみんなで一っしょに話しあって決めていきます。毎年どうなるか、それは誰にもわかりません!



服を着替えてくれない

着替えたくない子は、理由があれば着替えなくてもいい。そう考えています。大切なのは、服の汚れに**自分で気づいて着替えようとする**こと。汚れていない子まで、一斉に着替えることはしません。

なかなかお昼寝してくれない

眠たくなったら眠る。食べたくなったら食べる。どんなときも**子どもたちの気持ちを大切にします**。たとえば遅くまで遊んで給食が遅い時間になったら、そのぶんおかわりも少なくなっています。そういうところから、子どもたちは生活リズムを自分で組み立てるようになっていきます。



Q&A

こんなとき、どうする？

職員同士の関わり

互いにフォローしあいながら、子どもと向きあう時間を大切にします。

ピアノがすごく苦手

弾けなくても大丈夫。発表会などで伴奏が必要なら、弾ける職員にお願いしたり、ギターやピアノで伴奏したり。大切なのは、**一人ひとりの得意を現場に生かし、苦手なことはフォローしあうこと。**一人で抱えこむのではなく、みんなで協力すればいい。そんな頼り頼られる環境ができています。

保護者との関わり

「こどもが、まんなか。」への想いを、日頃から話しあい、受けとめ、伝えつづけます。

立場のちがう職員との関係が心配

ベテランやパートの職員とうまくやっていけるだろうか。**そんな不安もあって当然。**だからこそ、気になることがあれば、その都度ミーティングを行い、立場をこえていっしょに考えていく。**園長はじめみんなでサポートしあうので、のびのびとチャレンジし、自身の強みを発揮してください。**

「服を汚さないでほしい」というご要望が…

ここでもやはり、子どもがまんなか。子どもの気持ちを尊重したうえで、保護者さんには「汚れてもいい服を持ってきてください」とお伝えします。**保護者さんとの関係づくりにおいても、担任だけが抱えこむのではなく、園全体でサポートします。**子育てのお悩みについても、みんなでいっしょに考えます。協力しあって子育てしていく信頼関係を大切にしているため、保護者さんとのトラブルもほぼありません。



保育者の声

人と関わり、全力で寄り添える仕事がしたいと思ひ保育士の道へ。実際の保育の現場で、**子どもたちの発達の様多様さを実感**。先輩の先生たちに聞きながら、異年齢保育やプロジェクト保育を実践中です！

1年目

[主な役割]
法人の教育・保育の理念を理解して保育を行う

[育てるスキル]
チーム保育のための報告・連絡・相談

和田 優花さん Wada Yuka

1年目は、先輩の真似をしながら**保育の実践を学びました**。2年目は独り立ちして異年齢のクラス担任へ。現在は5歳児を担当し、生活の積み重ねを大切にしたい保育を**試行錯誤**しています！

3年目

[主な役割]
保育の質を高め、後輩の手本となる

[育てるスキル]
子どもの発達に応じた環境設定

能登 勇多さん Noto Yuma



入職後、ゆいの詩で2年間勤務し、その後もりの詩へ。職員たちの自分たちで考え、「**こうしたい**」をかたちにしやすい職場です。職員が気持ちよく働ける環境づくりにも**チャレンジ**していきたいです！

4年目

[主な役割]
担当グループのリーダーとして後輩を育成する

[育てるスキル]
担当グループのリスクマネジメント

小松 萌さん Komatsu Moe



大学卒業後、私立の幼稚園で6年間勤務したのち、子どもの主体性を育む保育に興味をもち転職しました。**チームで保育することの大切さ**や「**こどもが、まんなか。**」の本質を日々勉強しています！

4年目(キャリア採用)

[主な役割]
チームワークを円滑にする

[育てるスキル]
チーム内の協働、業務改善の発信

樋口 舞さん Higuchi Mai



副主任として3年目。今後はさらに職員同士で**コミュニケーション**をとり、安全・安心な保育を進めて**いきたい**と考えています。ゆくゆくは主任や管理職をめざせるよう経験を積んでいきたいです！

6年目(副主幹クラス)

[主な役割]
各グループリーダーへ指導や助言を行う

[育てるスキル]
各グループへの業務改善の発信、リスクマネジメント

宮城 優生さん Miyagi Yuki



誰だって最初は、失敗しながら学んでいくもの。つまずいたらまたやり直せばいい。だから失敗をおそれず、いろんなことに**チャレンジ**してください。お互い支えあいながら、いっしょに成長していきましょう！

ゆいの詩 園長
山崎 里美さん Yamazaki Satomi



ちがらをあわせて...!



interview

教えて！ 園のこと

- 保護者インタビュー
- 園児インタビュー

interview

保護者 インタビュー

子どもたちをみていると、
保育園ってこんなに
楽しい場所だったんだ！と
こっちが羨ましくなりました。



「今日は先生、
早出だったよ！」(笑)

工作が得意な先生。絵本を読むのが
上手な先生。音楽が好きな先生。**い
ろんなカラーの先生がいてくれること
と、なにより、先生たちが無理してい
るように見えない**のが、この園のと
てもいいところだと思います。“朝か
らお迎えのときまで同じ先生が付き
きりみてくれるけど、なんだかすご
く大変そう…”というのがみてとれて
しまうと、こちらも気を遣ってしま
いますよね。でもこの園の先生たちは、**と
ても自然体**といいますか。家でこの子
が「今日は先生、早出だったよ！」っ
て(笑)子どもが先生のシフトをなんと
なくわかってたりするところなんかを
みても、園の風通しのよさのようなも
のを感じられてすごくいいですね。
そういうところが、子どもたちも居心
地がいいんだと思います。

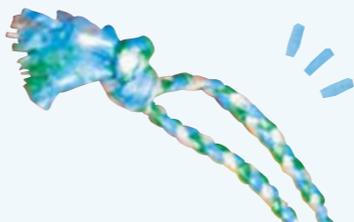
子どもの成長を、
発見させてくれる毎日でした。

離乳食も、トイレトレーニングも。お
母さんたちが悩んだりつまづいたりす
るところも含めて、二人三脚で子育て
をしていただきました。家のなかで
迷ったときも「保育園ではどうしてま
すか」と、すぐに相談できることもと
ても心強かったです。いつのまにか
とても面倒見のいい子になっていた
のは、きっと「異年齢保育」を通じて、
年上の子に面倒を見てもらい、自分
たちが大きくなったら年下の子の面倒
をみてきたという経験ができたから。
また、スズランテープを三つ編みに
したり、塗り絵をはみ出さずに塗れ
たり。**この子、こまかい作業を黙々と
するのが得意なんだ！と気づけたの
も、先生たちがたくさん材料を用
意してくれて、選択肢を増やしてく
れているからこそ**のこと。子どもたちの

成長を発見させてくれる園での生活
には、本当に感謝しています。

ママもこんな保育園に
通いたかったなあ。

うちは姉妹ふたりともこの園に0歳か
ら、あわせて10年通いました。すご
いのは、この10年間、**ふたりとも共
通して“行き渋る”ことがほとんどな
かったということ**。それどころか「先
生みんな好き！」って言うし、お迎え
に行けば「まだ帰りたくない！」っ
て言うし、もうママはどうすればいい
んだと(笑)そんな子どもたちの姿をみ
て、**保育園ってこんなにのびのび楽し
く過ごせる場所なんだと気づかされ
ました**。いつもいつも、こっちが羨ま
しくなるくらい毎日が楽しそうでした。



園児インタビュー

お友達に聞きました！ 園のいいところ、好きなどこ。

ポルダリングするのが
いちばん好き。
だってさ、
ちょっとずつ
登れるようになるのが
たのしいから。



ガーネット*1。
つみ木のおもちやが
あるから好き。



うんていが
好きです。
うんてい
じょうずです。



えっと、マラソン。



アメジスト*1が好き。
おままごとが
できるから。



好き。
だってさ、
えんていが
広いから。



えんていで
ドロダンゴ
つくるのが好き。



鉄棒とかがあるから、
えんていが好き。
鉄棒で
2段飛ばしできる。



ラキュー*2で
いろいろつくれるから
好きです。



つみ木で
電車つくって
あそんでるとき。



先生と
ゲームしているときが
たのしいです。



う〜ん…。
ねんどが
あるから好き。



きびしいときも
あるけど、
好き。





about

私たちが大切にしている 教育・保育のすがた

- 理念
- 働き方
- よくあるご質問
- 所在
- 法人概要

私たちが大切にしている教育・保育のすがた



01

異年齢保育やプロジェクト保育を通して、一人ひとりの心に向きあう。

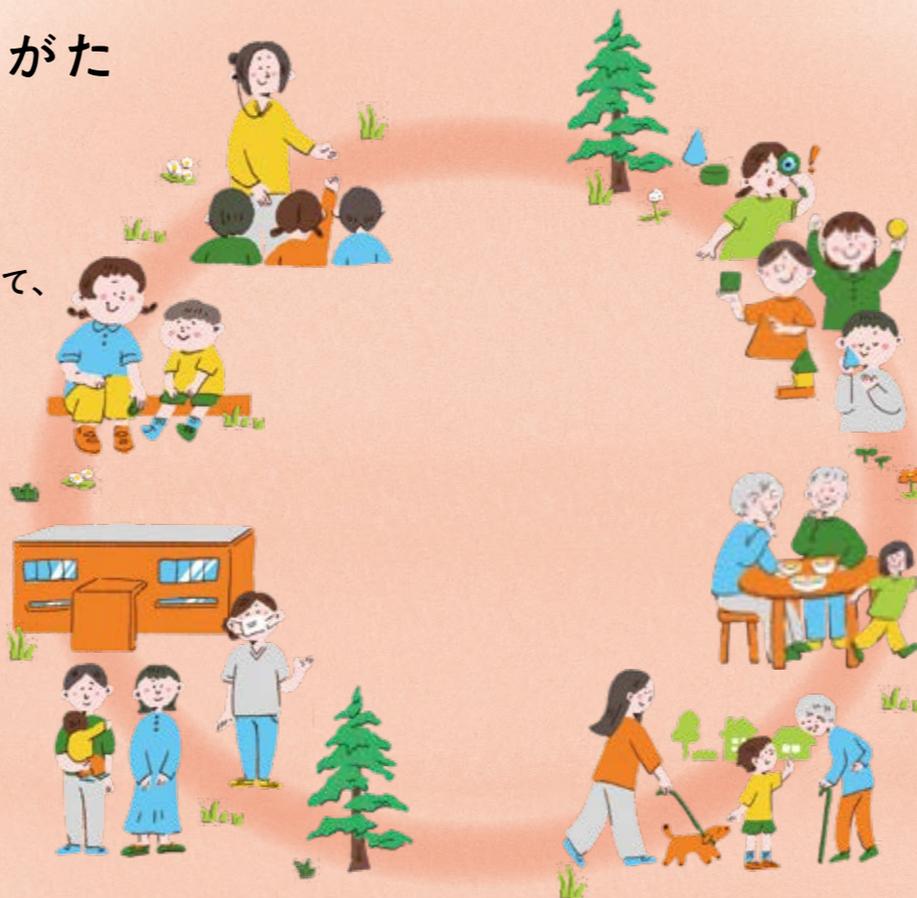
異年齢でいっしょに過ごし、子どもの興味・関心を探究していくプロジェクト保育を通して、子どもたちの主体性を育てる個別保育を実践しています。一人ひとりに寄り添い、生きる力・関わる力・創造する力を育みます。



03

医療的ケア児の受け入れなど、すべての子どもの成長を支える。

医療的ケア児の受け入れをはじめ、一人ひとりの発育に寄り添うサポートを行っています。保育者と常駐の看護師、医療機関と連携しながら、障がいの有無に関わらず、すべての子どもが安心していっしょに過ごせるよう努めます。



02

子どもの個性を受け入れ、一人ひとりの発達や発育に寄り添う。

一人ひとりの発達にあわせた子育てを支援するために、少人数での療育や医科大学と連携した発達相談などを実施しています。段階に応じた個別支援で個性を伸ばし、併設することも園とも連携しながら楽しく成長していくことを大切にします。

04

地域と連携し、園の外でも活動できる環境を整える。

当法人の保育への理解と、園の外での交流から豊かな心を育むために、地域との連携を推進しています。園でのモーニングの提供や5歳児による町の清掃活動、病児保育の受け入れなどを通して、地域の中で子どもの成長を見守ります。



教育・保育理念

- 1 子どもたちの尊厳を尊重し、子どもたちの幸せを追求する。
- 2 地域の「子ども・子育て支援」のニーズに取り組み、地域の子育て支援に貢献する。
- 3 いつでも誰もが安心して利用できる教育・保育サービスを創造する。

教育・保育の目的

ひとりひとりによりそい、生きる力、関わる力、創造する力をはぐくむ

生きる力

心身ともに健康であること。自然や生命を大切にすること。自分で気づき考えること。これらを子どもたちに培い、自分らしく生きるための基礎を養います。



関わる力

人を思いやり、仲間と協力しながら学ぶことで、相手を理解することや自分の気持ちを伝えることで、人の話も聞けるコミュニケーション力を育みます。



創造する力

数・形・標識・文字などへの興味・関心や、言葉で伝えあうきっかけを与えることで、豊かな感性と表現力を育み、新たに生み出す力を磨きます。



働き方



どこまでもまっすぐに、子どもたちの成長を見守っていくために。
私たちはまず、職員自身が心身ともに健康であることを大切にしています。
産休や育休、介護休暇など一人ひとりのライフステージに寄り添い、
安心して働き続けられる風土づくりに取り組んでいます。

総合職

さまざまな職種、エリアを経験できる異動があります。視野を広め、知見を深めることで法人内でのさまざまなキャリアアップが可能です。



保育教諭限定職

職種を限定した働き方により、専門職としての知識・スキルを深めることができます。



勤務時間 京都市エリア 早出 7:25~15:40 日勤 8:45~17:00 遅出 10:50~19:05
島本エリア 特早 6:55~15:10 早出 7:25~15:40 日勤 8:45~17:00 遅出 10:50~19:05

休日休暇 ・年間休日120日(週休2日、ローテーション勤務)
・有給休暇(初年度26日 ※16日間の計画年休含む)
・特別有給休暇(慶弔休暇、結婚休暇、配偶者の出産休暇等)
・産前産後休暇/育児休業(最長2年)/子の看護休暇

福利厚生 ・各種社会保険完備
(健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険)
・退職金制度

よくあるご質問

Q 未経験でも応募はできますか？

A 未経験でも大丈夫です。南山城学園では、保育園や幼稚園で仕事をしなかった職員にも、研修、育成制度はもちろん、先輩たちが丁寧に指導を行います。

Q どのような研修がありますか？

A 法人理念にもとづく定期的な全体研修やテーマ別研修のほか、乳幼児対象に特化した救急救命やリスクマネジメントなど、研修プログラムの充実を図っています。

Q ピアノが弾けないと勤務できませんか？

A 弾けなくても大丈夫です。それぞれの職員が得意なことを活かし、不得意なことは協力しあって補える風通しのいい職場環境が整っています。



Q 異動はありますか？

A 総合職であればエリア、職種を問わず異動があります。保育教諭限定職は、京都市中京区エリア、島本エリアでの異動があります。

Q 将来、結婚・出産した場合には産休・育休を取得できますか？

A もちろんです。ちなみに、産休・育休の取得率および復職率は100%です。安心して復帰できるような風土づくりに法人全体で取り組んでいます。



① 中京区エリア(京都市)



② 島本町エリア(大阪府三島郡)



① 中京区エリア(京都市)

A 保育園施設 もりの詩保育園

対象：乳児(0~2歳児)、幼児/定員：60名
〒604-8416 京都市中京区西ノ京星池町207番地
(地下鉄東西線二条駅より徒歩5分)

B 小規模保育施設 そらの詩保育園

対象：乳児(0~2歳児)/定員：12名
〒604-8382 京都市中京区西ノ京北聖町68
ジョイフルスクエア二条101
(地下鉄東西線二条駅より徒歩5分)

② 島本町エリア(大阪府三島郡)

C 幼保連携型 認定こども園ゆいの詩

対象：乳児(0~2歳児)、幼児
定員：1号認定6名、2・3号認定150名
〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目433番2
(JR島本駅より徒歩5分) ※一時保育、病児保育あり

D 小規模保育施設 るりの詩保育園

対象：乳児(0~2歳児)/定員：19名
〒618-0013 大阪府三島郡島本町江川2丁目13番
(阪急水無瀬駅より徒歩2分)

2025年10月開設

E 小規模保育 みずの詩保育園

対象：乳児(0~2歳児)・幼児/定員：19名
〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目16番1
(JR島本駅より徒歩1分)

2025年12月開設

E 民間学童保育施設 学童保育 にじの詩

対象：小学生/定員：40名
〒618-0022 大阪府三島郡島本町桜井二丁目16番1
(JR島本駅より徒歩1分)

about

法人概要

基本理念

1. 利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する
2. 地域のニーズにバイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する
3. いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する

南山城学園 法人概要

事業内容	福祉サービス(障害者・高齢者・乳幼児)など
設立	1965年2月
代表	理事長 磯 彰格
職員数	約800名
総収入	約47億円(2024年度実績)
事業所	京都府城陽市/京都市伏見区・中京区/宇治市/大阪府島本町 障害31か所/高齢3か所/保育4か所など

資料請求・お問い合わせ

資料請求、お問い合わせは右記のお電話、FAX、メールアドレスへ、またはホームページのお問い合わせフォームからご連絡ください。

TEL 0774-54-7210

FAX 0774-54-2117

MAIL saiyo-entry@minamiyamashiro.com

HP <https://minamiyamashiro.com>



社会福祉法人 南山城学園について

南山城学園は、1965年、知的障害のある方たちの小さな入所更生施設から始まりました。地域福祉の課題解決に取り組み続け、現在では法人全体で30以上の事業所と、約800名のスタッフが在籍しています。2015年より子育て支援事業を立ち上げ、乳幼児から高齢の方まで幅広い地域のニーズに取り組んでいます。

法人本部

〒610-0112

京都府城陽市長池五社ヶ谷14番地1

(JR奈良線長池駅より徒歩15分)





いかがでしたか？
南山城学園の保育。
いっしょにやって
みませんか？

先生、これなにー!?